



WEEKLY REPORT

No.1657(第17回) 2023年12月6日(水) 点鐘:12時45分 於:勇屋会館
 No.1658(第18回) 2023年12月6日(水) 点鐘:19時00分 於:大黒屋

例会:毎週水曜日 12:45~ 例会場:勇屋会館 事務所:安曇野市豊科 4312-6 奥村ビル2F

RI テーマ

TEL:0263(73)2901 FAX:0263(72)3181 E-mail : azumirc@poppy.ocn.ne.jp



世界に希望を生み出そう

会長 小穴 実 幹事 藤森 康友

R.I会長 ゴードン R. マッキナリー ガバナー補佐 場々洋介

クラブ標語 【 クラブに希望を生み出そう 】

《疾病予防と治療月間》



- ★ 配布 ・幹事報告号 No.17 ・Rの友 12月号
- ★ 国歌 ・君が代
- ★ ロータリーソング ・奉仕の理想
- ★ ゲストのご紹介 ・米山奨学生 ヤンチュンジェ様

★ 会長挨拶 【小穴会長】

皆さんこんにちは!

12月師走と言うことで何かと気忙しい日々を迎えております。

先月11月は11~12日に地区大会があったり、25日にはIMがあったりとロータリーの公式行事が多い月でした。ご

参加いただいた皆様、お手伝いをいただいた皆様、ありがとうございました。無事に担当したIMも成功裡に済ませることができました。

翌日26日には当クラブのゴルフコンペが穂高カントリークラブで開催されましたが、同時に地区の職業奉仕委員会のセミナーがあり、ゴルフをしながらネットで参加させて頂きました。同じようにゴルフをしながら参加されている方もいましたが、映像が流れたままでしたのでうちのクラブの様子が漏れているのでは無いかとヒヤヒヤでした。

更には私ごとですが、21~22日に掛けて神戸でロータリー研究会、27~29日には松本商工会議所の初事業となったチャーター便での沖縄旅行に夫婦で参加させて頂きましたが、この時期は寒暖差が大きくて極寒の地から常夏の地への旅行は衣類が嵩張ってしょうがなかったです。と言うわけで、先月は正に働く間もありませんでした。

さて、今月の来週末はクリスマス家族例会があります。入会勧誘させて頂いている黒澤様もお見えになりますので、入会に繋がりますようによろしくお願いいたします。



さて、後ほどの理事会にて、次年度に向けての人事が決まりますが、どうかよろしくお願いいたします。
 夕刻に大黒屋さんにて被選理事会を兼ねて懇親会を行いますので、こちらもご参加の程よろしくお願いいたします。
 それでは本日もよろしくお願いいたします。

★ 幹事報告

【藤森幹事】

別紙参照



◇出席報告

会員総数 20名 出席免除会員数 1名	
本日の出席率	前々回(11/15 修正出席率)
出席者: 15名	欠席者: 8名
欠席者: 4名	メーキャップ: 3名
出席率: 79%	出席率: 75%

★ ニコニコBOX 報告 (敬称略)

小穴: 師走 クリスマス家族例会楽しみです。

藤森(康): 今年も残すところ1ヶ月足らず先ずはクリスマス例会を楽しみましょう。

本日は、小穴第2次内閣も楽しみにしています。

笠原: 濱さん お話し楽しみにしています。

下里: IM お疲れ様でした。

場々: IM ご苦勞様でした。

三原: あっという間の一年でした。少々早いですが皆様良いお年をお迎え下さい。

赤羽: 濱さんの卓話 楽しみです。

濱：早くも12月6日アツと云う間の今年でしたが
体を大切に!! ヤンさんよろしく!!

中村：濱さん卓話たのしみ!です。

丸山(慶)：濱会員の会員卓話 楽しみです。

小野：IM・会員セミナーお疲れ様でした。

高木：過日のIM・会員セミナー大変ご苦勞様でした。
だいぶ寒くなりました。体に気をつけましょう。

飯田：皆様お久しぶりです。

藤森(茂)：お久しぶりです。懇親会お願いします。

ゴルフ同好会：お金使い切りました。わずかな残りです。



[計 15 件 27,110 円]
今年度のニコニコ BOX
計 268,110 円



【高木ニコニコ出席委員長・中村プログラム委員長】



★本日のプログラム

◎会員卓話

私の政治とのかかわりと議員人生 +α

【濱 昭次 会員】

先日、藤森康友幹事に乗せられて13日のリモート例会の会員卓話は、出席者も少ないし6日の私の雑誌評論の時間を使って通常例会の席でやってくださいとおだてられて今日になりました。



政治に関心を持ったことは、当たり前と言えばそれまでですが、現実的にはむしろ今もって無関心が多いですよ。そんなことから余り面白い話が沢山あるわけではありませんが、私の体験から少し紹介してみたいと思います。

1、最初と言っていきかけ

以前にも何かの機会に口にすることがあったとおもうのですが、私が高校を卒業した昭和42年の7月31日の昼近くの事でした、浪人中の私は友人と当時の松本市立図書館は旧勧銀前に在ったのですが、そこにて深志高校の後輩たちが穂高岳の独標で落雷事故に遭遇して、多くの死者が出ているとのニュースを聞いて図書館を飛び出して高校へむかいました。固唾をのんで成り行きを見守りましたが、当時の防衛庁長官を勤めていた地元選出増田甲子七議員が、自衛隊松本駐屯地の自衛隊ヘリコプターを即刻救助に向かわせたとの先生たちの会話は今でもはっきりと脳裏に焼き付いています。高校生でしたが、これが政治だと強く感じた瞬間でした。

23 歳になったころ、私は実家に母親が一人暮らしをしていたので、帰郷して面倒を見るのが必然でした。その為には地元就職口を見つけなければなりません。ある私の世話人が連れて行ってくれたのが、当時の現職衆議院議員の増田甲子七さんの事務所でした。そこで松本歯科大学の事務官の就職先を直ぐに話がつく位の感じでしたのでお願いすることにしました。しかし話はそれで終わらずに、大学が学園紛争で閉校中なら、この事務所でアルバイトで働いてもらえないかとなったんです。

就職先をお願いした手前断わるわけにもいきませんので、了解してバイトに精を出すことになりました。本当に事務所の裏側を見て 選挙や政治は面白いなど感じるようになったきっかけです。

(女房とは 2 年前ぐらいから付き合っていたんですが、この事務所に、女房の実家の隣に松林医院というのがありますが、その次男坊さんが、議員秘書としてここにおいて、大阪屋の親戚の息子は君か?と私に聞いてきて、

ちょっと戸惑いましたが、女房の父親がそう言ったようでした。その秘書の松林さんが、大阪屋は議員の家とは近い親戚なんだと聞きました。)

2、社会人になってから自分が地方議会議員になるまで

時代の流れで、増田甲子七議員は私がかかわった次の選挙で落選して、後継者に跡目をゆずりましたが当選叶わず一度の出馬で東京へ戻ってゆかれました。

その後の後継者が大変すばらしく私は又、選挙活動にはまってゆきました。私だけでなく同じ様な若い世代の仲間はいっぱいました。

その人が塩島 大さんでした。

実にこの人の選挙活動、後援会活動に松本を含めてそこから中に出かけました。今までにいなかった政治家だと感じました。この人がもっと長く地元の国会議員でいてくれたら、みんながそう思っていたと思いますが、僅か1年7か月でこの世を去ってしまいました。直腸がんの今というステージ4で手の施しようもなく好きなことをさせてあげなさいと医者と言っていたそうです。この後継者は村井仁さんへとなってゆくわけですが、村井さん自身は、「塩島大の後継者」と言われることを心底嫌っておりました。

選挙の裏側や国会議員のプライベートの一面に精通すると、次から次とお呼びがかかって政治と選挙にかかわるようにならざるを得ません。

統一地方選挙はもっと選挙に精通した者を必要とします。何時でも私の家に手伝ってくださいと多くの関係者が訪ねてきました。

最も私の近未来に影響を及ぼす結果となったのは、三郷の村長をされた丸山隆夫さんと、県会議員に立候補すると言う、関原史人さん、この2人です。

私の今までのキャリアはこの2人から始まったのです。

*その前に関原史人氏が村議の現職を辞して県議選に立候補した時の経緯

三郷村議会の議員は皆さん関原氏を支援するとの約束で、選対に入って協力する約束だった

私は自宅に関原さんと、もう一方がおみえになり土下座をして選挙を手伝って下さいと頭を下げられ大の大人がこんな若造に「そんなことしないでください」と申しましたがその態度に断れませんでした。私は副事務局長として手伝うことになりました。事務局長は現職村議の関原さんの同級生の方でした。

所が、告示になっても選挙事務所に村議の方々が姿を見せないのです。私は当時自営業でしたが現場にも行けず、朝から選挙事務所に詰めました。それは男がやると約束したからです。

後から分かったことですが、村議たちは支持者らに、あんな者の手伝いをしていたら2週間後の村議選手伝わないぞと

脅されていたのです。それからこの時の選挙はその前県議選の補欠選挙があり三郷から出た、降旗茂孝さんが2万票以上も取って当選したのですこれはなぜか?当時の宮沢県議がもう一人の曾根原候補者が自分と500メートルほどしか自宅が離れておらず、もしこちらが当選してしまうと次回から大変な選挙戦になってしまうとの判断で、大量の宮沢票が降旗氏に流れたといわれました。

関原さんの選挙はその次の選挙の話です。北山早苗女史と2人なら戦いはいい勝負だったかもしれませんが、突如態度保留していた降旗氏が出馬表明したのです。この時点で三郷が幾ら県下最大の村と言われても、案の定共倒れに終わりました。

関原さんはこの時の私にえらく感謝をしていたようです。

この後の選挙から、私が村議として登場することになったのです。

合併して市議会議員を5期勤め、会派仲間3人とも69歳でリタイアしました。

それからも今日まで、政治と選挙から縁が切れません。今熱いのが松本市長選です。私は去年6月ロータリークラブの会長任期を終えると同時くらいに、訳あって大学の校友会の会長をやらざるを得なくなりました。そして今年11月12日、長野県中に7つある校友会支部を松本に集結して長野県支部総会を早稲田の田中総長をお招きして開催する主幹校友会の代表を務めましたが、その時も臥雲松本市長とその時は明治大学校友会県支部長という肩書で坪田前松本副市長をゲストでお呼びしましたが、私のいるゲストテーブルに2人を一緒にしないほうがいいとか、赤羽俊太郎君は稲門会の副幹事長で当日の司会進行をやってもらっていましたが、その少し前に、今回の自身の立候補について「濱先輩、僕の立候補どう思います?」と相談を受け、又、隣のテーブルにいた上野紘志先輩からは、「浜ちゃん、今回の市長選は臥雲はやらない、菱山が出るのでそちらをやるから」とその席で念を押されたのです。松本市民でもないのになんでみんな俺に話に来るのかなと思いつつ、女房と何年来からの約束だった結婚50周年の記念旅行に11月15日、私の提案したシンガポールからスペクトラムオブザシーズのクルーザー旅行に7日間出掛けて来ました。

が、私には何かメイクドラマがついて回るのでしょうか。この旅行の件を付け加えたのは旅行そのものを話すためではありません。本当に女房に普通の観光旅行ではない何か記念になるようななどの思いで提案したのでしたがサービスの良さで定評のあるシンガポール航空ですから期待していたのですが行きはがっかりでした。

そしていよいよクルーズ乗船です。シンガポールはITが日常的ですが、スマホがないと入国もできません。女房としどろもどろでいろいろやりました。行く前は娘にも手伝ってもらいやっと乗船できたような感じです。

そこからこの旅行に落胆したのです。40年以上何かと相談しあい助け合って付き合ってきた男がたったいま目を落としたとの会社のものからの電話でした。そのあとどうやってもスマホは通じませんでした。一回も通じなければその旅行自体はもったのしかたはずですが、知ってしまった時バルコニーで正直号泣してしまいました。

この男のことを少し話してわたしの話は終わりにしますが、私の選挙に欠かせない存在だったのです。選挙資金援助、アナウンス嬢に東京から娘を呼んで派遣してもらいましたが、実は、本人は吐血して入院中でした。その代わりと言えば御幣がありますが奥さん同行ゴルフ、海外旅行、韓国クラブ等々のくらい一緒にいきてきたか？

奥さんを肺腺癌で53歳の時亡くしてから2人の娘たちは、平気で東京の大学に出し2人ともそれぞれ結婚し、彼は鉄工所の社長としてずっと一人、そこで私は彼の健康が心配で10年以上韓国クラブで見続けてきた1人の女性に彼の面倒をたまに見てくれと頼みました。

それから彼女は私のめがねどおり、彼と2人の娘にも気に入られ彼の自宅に7年も在宅中です。

傷心旅行では今回の旅行を終わらせたくないと思いを取り直してのあと6日間でしたが、やっと最終日チャンギ空港から空の旅人となりました。

最後の最後まで今回の旅行には何かが付きまどっているのか？

機内で決定的か？と思える小さきトラブルを私が起こしてしまったのです。CAがドリンクの注文に来られて、当然キャナイハブシーバスオンザロックで素敵に持ってきてくれました。乗ってから1時間ぐらいたったころ、CAがブレックファスト如何ですかと言ってきたので、女房はじきに配膳されて美味しそうに食べていましたが、自分は未だオンザロックをたしなんでいたもので、2アワーズレイタープリーズといったのに対して間違いなくオーケーだったので3時ころになっても食事が出てこないの、CAを呼んでどうしたんですか？と聞いたらこの時間になると規則では着陸2時間前にお出することになってますとの説明で流石に前日昼から腹にたまるものを入れていなかったの、正直語気を強めてそれはないよ、せっかくシンガポール航空が素晴らしい事を自分が知っているから、妻へのプレゼントに選んで自分たちの50周年記念旅行にしたのと言いました、もうそこには日本人のCAと主任パーサーが横にいて本当にすみませんでしたと2人揃って謝るのです。何とかかいたしますからお許しくださいと言って20分ほど加熱等に時間がかかりますと言いながら私の横から離れませんでした。その間色々な話をする羽目になりました。

ここからですサプライズが起きたのは、最後の最後にこの記念旅行が私どものシンガポール航空によって壊れることがないようにと言われましたが、女房の側にお祝いのケーキと

大杉さんというCAのメッセージカードを用意していただいたのでした。

帰国して翌日朝いちばんで亡くなった彼の家に行き、手を合わせてきました。例の彼女と実の娘2人が私を床得てくれました。

娘が帰り際「濱さんは未だお父さんを追いかけてないでね」又、涙が溢れました。

最後にCA大杉さんからのメッセージカードを紹介して終わりにします。「ハマ様、本日はご搭乗誠にありがとうございます。素敵なお旅行にシンガポール航空をお選びいただきとても嬉しいです。

お食事に関しまして、ご不便をおかけしてしまい大変申し訳ございませんでした。又、いつかお昼のフライトでお二人にゆっくりお食事サービスを楽しんでいただきたいなと思います。とてもロマンチックなお二人の出会いについて教えてください、ありがとうございます。これからも末永く仲良く健康にお過ごしくださいね。」



笠原会員へバッジの贈呈
マルチプル・ポールハリスフェロー



【小穴会長からヤンさんへ奨学金贈呈】

懇親会

©2023年12月6日(水)点鐘19時 於:大黒屋



【赤羽 副会長 乾杯あいさつ】



【藤森茂会員からひとこと】



【飯田章治会員からひとこと】



【締め:場々ガバナー補佐】